

# 四半期報告書

(第38期第2四半期)

自 平成25年9月1日

至 平成25年11月30日

ミタチ産業株式会社

名古屋市中区伊勢山二丁目11番28号

# 目 次

	頁
表 紙	
第一部 企業情報	
第1 企業の概況	
1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
第2 事業の状況	
1 事業等のリスク	3
2 経営上の重要な契約等	3
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	3
第3 提出会社の状況	
1 株式等の状況	
(1) 株式の総数等	4
(2) 新株予約権等の状況	4
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	4
(4) ライツプランの内容	4
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	4
(6) 大株主の状況	5
(7) 議決権の状況	5
2 役員の状況	5
第4 経理の状況	6
1 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
2 その他	15
第二部 提出会社の保証会社等の情報	16
[四半期レビュー報告書]	17

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成26年1月10日
【四半期会計期間】	第38期第2四半期（自平成25年9月1日至平成25年11月30日）
【会社名】	ミタチ産業株式会社
【英訳名】	MITACHI CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 橘 至朗
【本店の所在の場所】	名古屋市中区伊勢山二丁目11番28号
【電話番号】	(052) 332-2500
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理部門担当 大島 卓也
【最寄りの連絡場所】	名古屋市中区伊勢山二丁目11番28号
【電話番号】	(052) 332-2512
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理部門担当 大島 卓也
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号) ミタチ産業株式会社 東京支店 (東京都千代田区内幸町二丁目2番2号) ミタチ産業株式会社 関西支店 (京都市下京区烏丸通仏光寺下ル大政所町680番地)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第37期 第2四半期 連結累計期間	第38期 第2四半期 連結累計期間	第37期
会計期間	自平成24年6月1日 至平成24年11月30日	自平成25年6月1日 至平成25年11月30日	自平成24年6月1日 至平成25年5月31日
売上高（千円）	16,519,404	17,111,681	31,394,085
経常利益（千円）	457,634	544,730	819,745
四半期（当期）純利益（千円）	311,831	423,486	591,915
四半期包括利益又は包括利益（千円）	251,321	490,566	693,909
純資産額（千円）	4,969,178	5,817,059	5,360,319
総資産額（千円）	11,326,637	12,652,129	13,088,457
1株当たり四半期（当期）純利益金額 （円）	42.42	57.62	80.53
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期） 純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	43.9	45.7	41.0
営業活動による キャッシュ・フロー（千円）	1,228,442	498,244	312,794
投資活動による キャッシュ・フロー（千円）	△64,282	△106,588	△89,939
財務活動による キャッシュ・フロー（千円）	△521,997	△382,239	△15,266
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（千円）	1,436,669	1,081,155	1,028,545

回次	第37期 第2四半期 連結会計期間	第38期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年9月1日 至平成24年11月30日	自平成25年9月1日 至平成25年11月30日
1株当たり四半期純利益金額（円）	18.71	38.84

- （注）1．当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移について記載しておりません。
- 2．売上高には消費税等は含まれておりません。
- 3．潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社（ミタチ産業株式会社）、連結子会社6社（M. A. TECHNOLOGY, INC.、美達奇（香港）有限公司、台湾美達旗股份有限公司、敏拓吉電子（上海）有限公司、美達奇電子（深圳）有限公司、MITACHI (THAILAND) CO., LTD.）、非連結子会社1社（PT MITACHI INDONESIA）により構成されております。また、平成25年6月に当連結子会社の美達奇（香港）有限公司が、子会社としてPT MITACHI INDONESIAをインドネシアに設立いたしました。

当第2四半期累計期間における、各セグメントに係る主な事業内容の変更と主要な関係会社の異動は、概ね次のとおりであります。

### <国内事業部門>

主な事業内容及び主要な関係会社の異動はありません。

### <海外事業部門>

主な事業内容の変更はありません。主要な関係会社の異動は、第1四半期連結累計期間からMITACHI (THAILAND) CO., LTD. を連結子会社としております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和や経済対策の効果により円高の是正や株価の上昇が進む中、輸出や設備投資、個人消費は持ち直しの動きがみられるようになり、景気は緩やかに回復している状況となっておりました。

このような経済状況のもと、当社グループの主要取引先である自動車分野につきましては、新規顧客への販売が堅調に推移いたしました。民生分野につきましては、光半導体の受託生産の受注が減少いたしました。アミューズメント分野につきましては、新規案件の受注により全般的に販売が伸長し、好調に推移いたしました。その他の分野につきましては、工作機械向け組付け受注の減少などにより、売上は減少いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は17,111百万円（前年同四半期比3.6%増）、利益につきましては、利益構造の改革などが功を奏し、営業利益は426百万円（前年同四半期比27.7%増）となりました。また、債権の回収に伴い貸倒引当金戻入を営業外収益として計上したことなどもあり、経常利益は544百万円（前年同四半期比19.0%増）、四半期純利益は423百万円（前年同四半期比35.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 国内事業部門

自動車分野向け販売及びアミューズメント分野向け販売が堅調に推移したため、連結売上高は10,144百万円（前年同四半期比9.5%増）となりました。また、セグメント利益は391百万円（前年同四半期比1.8%増）となりました。

#### ② 海外事業部門

民生分野向け販売及びアミューズメント向け販売が堅調に推移したものの、光半導体の受託生産の受注が減少した結果、連結売上高は6,967百万円（前年同四半期比4.0%減）となりました。一方、利益構造の改革などが進み、セグメント利益は280百万円（前年同四半期比47.1%増）となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期連結会計期間末に比べて355百万円減少し、1,081百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は498百万円（前年同四半期は1,228百万円の獲得）となりました。これは主に仕入債務の減少額482百万円等があったものの、売上債権の減少額1,491百万円等が反映されたことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は106百万円（前年同四半期は64百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出49百万円、関係会社株式の取得による支出30百万円等が反映されたことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は382百万円（前年同四半期は521百万円の使用）となりました。これは主に長期借入れによる収入393百万円があったものの、短期借入金の減少額（純額）748百万円等が反映されたことによるものであります。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動はありません。なお研究開発活動に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,000,000
計	16,000,000

###### ②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年11月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成26年1月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,350,000	7,350,000	東京証券取引所 (市場第一部) 名古屋証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	7,350,000	7,350,000	—	—

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年9月1日～ 平成25年11月30日	—	7,350,000	—	521,600	—	572,400

## (6) 【大株主の状況】

平成25年11月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
株式会社 J U	名古屋市千種区見附町 3 丁目 3 番地の12	1,844,800	25.10
橘 至朗	愛知県日進市	316,700	4.31
ミタチ産業従業員持株会	名古屋市中区伊勢山 2 丁目11番28号	249,307	3.39
井上 銀二	愛知県東海市	220,000	2.99
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内 2 丁目 7 番 1 号	200,000	2.72
井上 佐恵子	愛知県東海市	180,000	2.45
岩成 一郎	名古屋市天白区	165,000	2.24
野中 光夫	愛知県北名古屋市	110,000	1.50
株式会社光波	東京都練馬区向山 2 丁目 6 番 8 号	102,000	1.39
橘 篤敬	千葉市花見川区	100,000	1.36
計	—	3,487,807	47.45

## (7) 【議決権の状況】

## ① 【発行済株式】

平成25年11月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 400	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 7,348,300	73,483	—
単元未満株式	普通株式 1,300	—	—
発行済株式総数	7,350,000	—	—
総株主の議決権	—	73,483	—

(注) 「完全議決権株式 (その他)」の株式数の欄には、証券保管振替機構名義の株式が、600株含まれております。

また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数6個が含まれております。

## ② 【自己株式等】

平成25年11月30日現在

所有者の氏名又は 名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数 (株)	他人名義所有 株式数 (株)	所有株式数の 合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
ミタチ産業株式会社	名古屋市中区伊勢 山二丁目11番28号	400	—	400	0.00
計	—	400	—	400	0.00

## 2 【役員】の状況】

該当事項はありません。

#### 第4【経理の状況】

##### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

##### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年6月1日から平成25年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,064,545	1,131,155
受取手形及び売掛金	7,201,933	※1 6,734,786
たな卸資産	※2 2,770,963	※2 2,879,207
繰延税金資産	60,728	55,417
未収消費税等	202,389	38,871
その他	121,996	85,993
貸倒引当金	△42,528	△531
流動資産合計	11,380,028	10,924,899
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	408,664	395,403
機械装置及び運搬具（純額）	88,934	112,219
土地	460,338	460,338
リース資産（純額）	498	—
その他（純額）	34,374	34,774
有形固定資産合計	992,810	1,002,735
無形固定資産		
投資その他の資産	86,928	92,586
投資有価証券	97,779	102,082
関係会社株式	30,120	30,354
繰延税金資産	207,431	201,571
その他	1,320,953	341,072
貸倒引当金	△1,027,593	△43,172
投資その他の資産合計	628,690	631,907
固定資産合計	1,708,429	1,727,230
資産合計	13,088,457	12,652,129

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,235,837	※1 3,793,744
短期借入金	2,229,196	1,488,534
リース債務	697	—
未払法人税等	228,511	134,031
賞与引当金	83,296	87,801
役員賞与引当金	7,700	10,000
その他	238,262	187,073
流動負債合計	7,023,502	5,701,183
固定負債		
長期借入金	582,150	986,500
繰延税金負債	11,142	15,809
資産除去債務	24,120	24,279
その他	87,222	107,296
固定負債合計	704,635	1,133,886
負債合計	7,728,137	6,835,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	521,600	521,600
資本剰余金	572,400	572,400
利益剰余金	4,240,752	4,600,306
自己株式	△203	△203
株主資本合計	5,334,549	5,694,102
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,905	5,213
為替換算調整勘定	22,864	87,636
その他の包括利益累計額合計	25,770	92,850
少数株主持分	—	30,106
純資産合計	5,360,319	5,817,059
負債純資産合計	13,088,457	12,652,129

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
売上高	16,519,404	17,111,681
売上原価	15,162,539	15,563,569
売上総利益	1,356,864	1,548,111
販売費及び一般管理費	* 1,022,459	* 1,121,134
営業利益	334,405	426,977
営業外収益		
受取利息	2,014	1,621
受取配当金	1,469	691
仕入割引	14,777	18,778
受取家賃	22,968	18,033
デリバティブ評価益	—	2,932
為替差益	—	8,544
貸倒引当金戻入額	83,623	76,144
その他	12,919	15,014
営業外収益合計	137,772	141,760
営業外費用		
支払利息	7,579	19,623
売上割引	2,690	2,624
為替差損	911	—
その他	3,361	1,760
営業外費用合計	14,543	24,007
経常利益	457,634	544,730
特別利益		
固定資産売却益	4,154	—
特別利益合計	4,154	—
特別損失		
持分変動損失	—	4,560
特別損失合計	—	4,560
税金等調整前四半期純利益	461,789	540,170
法人税、住民税及び事業税	195,636	101,874
法人税等調整額	△45,678	14,808
法人税等合計	149,958	116,683
少数株主損益調整前四半期純利益	311,831	423,486
四半期純利益	311,831	423,486

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	311,831	423,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,818	2,308
為替換算調整勘定	△58,692	64,771
その他の包括利益合計	△60,510	67,079
四半期包括利益	251,321	490,566
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	251,321	490,566
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	461,789	540,170
減価償却費	64,792	54,244
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,488	4,504
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,000	2,300
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△84,661	△1,026,418
持分変動損益 (△は益)	—	4,560
受取利息及び受取配当金	△3,483	△2,313
支払利息	7,579	19,623
有形固定資産売却損益 (△は益)	△4,154	—
売上債権の増減額 (△は増加)	3,187,619	1,491,723
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△201,374	△61,452
未収消費税等の増減額 (△は増加)	71,578	163,517
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	8,646	39,381
差入保証金の増減額 (△は増加)	△2,116	△2,913
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,353,214	△482,215
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△32,756	△55,679
その他	11,563	21,547
小計	1,138,318	710,580
利息及び配当金の受取額	3,416	2,310
利息の支払額	△7,790	△19,456
法人税等の支払額	△3,029	△195,189
法人税等の還付額	97,526	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,228,442	498,244
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△26,000	△50,000
定期預金の払戻による収入	26,000	36,000
有形固定資産の取得による支出	△34,265	△49,730
有形固定資産の売却による収入	8,992	1,271
無形固定資産の取得による支出	△7,081	△9,019
投資有価証券の取得による支出	△726	△735
関係会社株式の取得による支出	△30,120	△30,354
その他	△1,081	△4,021
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64,282	△106,588
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△689,023	△748,141
長期借入れによる収入	238,290	393,970
リース債務の返済による支出	△19,817	△697
配当金の支払額	△51,447	△51,447
少数株主からの払込みによる収入	—	24,076
財務活動によるキャッシュ・フロー	△521,997	△382,239
現金及び現金同等物に係る換算差額	△37,150	24,320
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	605,010	33,737
現金及び現金同等物の期首残高	831,659	1,028,545
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	18,872
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,436,669	※ 1,081,155

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、MITACHI (THAILAND) CO., LTD. は重要性が増したため、連結範囲に含めております。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
受取手形	—	51,981千円
支払手形	—	83,366

※2 たな卸資産の内訳は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
商品及び製品	2,474,124千円	2,613,521千円
仕掛品	111,821	71,511
原材料及び貯蔵品	185,017	194,174

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
給与及び手当	325,538千円	353,211千円
賞与引当金繰入額	80,259	87,801
役員賞与引当金繰入額	10,000	10,000
貸倒引当金繰入額	—	△1,736

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
現金及び預金勘定	1,472,669千円	1,131,155千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△36,000	△50,000
現金及び現金同等物	1,436,669	1,081,155

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結結果計期間(自平成24年6月1日至平成24年11月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成24年8月24日 定時株主総会	普通株式	51,447	利益剰余金	7	平成24年5月31日	平成24年8月27日

(2) 基準日が当第2四半期連結結果計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成24年12月18日 取締役会	普通株式	51,447	利益剰余金	7	平成24年11月30日	平成25年2月8日

II 当第2四半期連結結果計期間(自平成25年6月1日至平成25年11月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成25年8月23日 定時株主総会	普通株式	51,447	利益剰余金	7	平成25年5月31日	平成25年8月26日

(2) 基準日が当第2四半期連結結果計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成25年12月13日 取締役会	普通株式	73,495	利益剰余金	10	平成25年11月30日	平成26年2月10日

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内事業部門	海外事業部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,264,892	7,254,511	16,519,404	—	16,519,404
セグメント間の内部売上高又は振替高	786,045	383,950	1,169,995	△1,169,995	—
計	10,050,937	7,638,461	17,689,399	△1,169,995	16,519,404
セグメント利益	384,950	190,643	575,594	△241,188	334,405

(注) 1. セグメント利益の調整額△241,188千円は、セグメント間取引消去357千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△241,546千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内事業部門	海外事業部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,144,652	6,967,029	17,111,681	—	17,111,681
セグメント間の内部売上高又は振替高	553,940	499,730	1,053,671	△1,053,671	—
計	10,698,593	7,466,759	18,165,352	△1,053,671	17,111,681
セグメント利益	391,926	280,397	672,323	△245,346	426,977

(注) 1. セグメント利益の調整額△245,346千円は、セグメント間取引消去△1,379千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△243,967千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額	42円42銭	57円62銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	311,831	423,486
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	311,831	423,486
普通株式の期中平均株式数(株)	7,349,596	7,349,596

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

平成25年12月13日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議しました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・・・・・・73,495千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・10円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・平成26年2月10日

(注) 平成25年11月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年1月9日

ミタチ産業株式会社

取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 大 中 康 宏 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 河 嶋 聡 史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているミタチ産業株式会社の平成25年6月1日から平成26年5月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年6月1日から平成25年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ミタチ産業株式会社及び連結子会社の平成25年11月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。